JV-Campus：
筑波大学のオンライン日本語教材の開発

関崎博紀・ブッシュネル=ケード・伊藤秀明・岩崎拓也・
小野正樹・チョーハン=アヌブティ・波多野博顕・
文昶允・ヴァンバーレン=ルート（筑波大学）

コンテンツの位置づけと構成

- 日本語教育専門部会 II
- オリジナルの日本語教育用教材
- 構成

  入口支援：初級アカデミック日本語、生活日本語

  学習支援：口頭能力評価システム

  出口支援：キャリア支援日本語

入口支援：初級アカデミック日本語

１）日本語教育用動画作成

＊キャンパス内を中心

＊大学生活で必要度の高いやりとり

＊学習者自身でこなせるタスク

例：ゼミで自己紹介をする

図書館のセミナー室を予約する

スーパーでレジ袋が必要かどうか伝える

＊できるだけ自然なやりとり

アカデミック日本語の下支えとなる日本語力を多読で

根拠

- ハリーポッターシリーズにはAWLの85%が含まれている（McQuillian 2020）
- 語彙習得のために、多読をすることが単語を教える、暗記・練習させることより1.6〜4倍効率的（Mason 2007; McQuillian 2020）

問題

- 英語の魅力的なグレイデッド・リーダーは多く存在するが、日本語ではまだ十分にない

目指すこと

- 日本語教育のために読者を惹きつけるような面白い多読コンテンツを作成し提供
- 50の短編小説を準備中：留学生活、日本人のクラスメートや教員との人間関係、日本文化の中で経験する戸惑いや喜び、恋愛、冒険等々…

入口支援：生活日本語「日本語アベニュー」

現在はCEFR A1レベルのCan-Doの話例集

2024年春　公開

オンラインでも教室でも利用できる
会話教材へ発展

こんな時なんて言えばいいのかな・・・

学習支援：口頭能力評価

■ コンセプト

- **多様な口頭練習環境**を整備し、提供する
- 音声による発話を**韻律面・内容面から自動で評価**する
- 複雑な操作や専門知識を求めず、利用者が**自律的に取り組める**

■ 構成

：口頭練習環境の整備と評価

音読、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング

音響情報処理技術に基づいた韻律の可視化 & 評価

：口頭要約力の評価

提示された文章をその場で口頭要約

音声認識による文字化 & 評価

一部機能を先行公開中！

オーバーラッピング

会話シャドーイング

再試行可能　スクリプト表示

オーバーラッピング 1

モデルオーディオ

sonority

F0

自分のオーディオを再生する　両方を再生する　モデルを再生する　録音を開始する

タスクスコア

録音が終了した後にスコアが計算されます。頑張ってください！

オーバーラッピング 1

sonority

F0

出口支援：キャリア支援日本語

就職活動に向けたオンラインコンテンツ

長期的目標 と 短～中期目標

→**自身のストーリーライン作成**

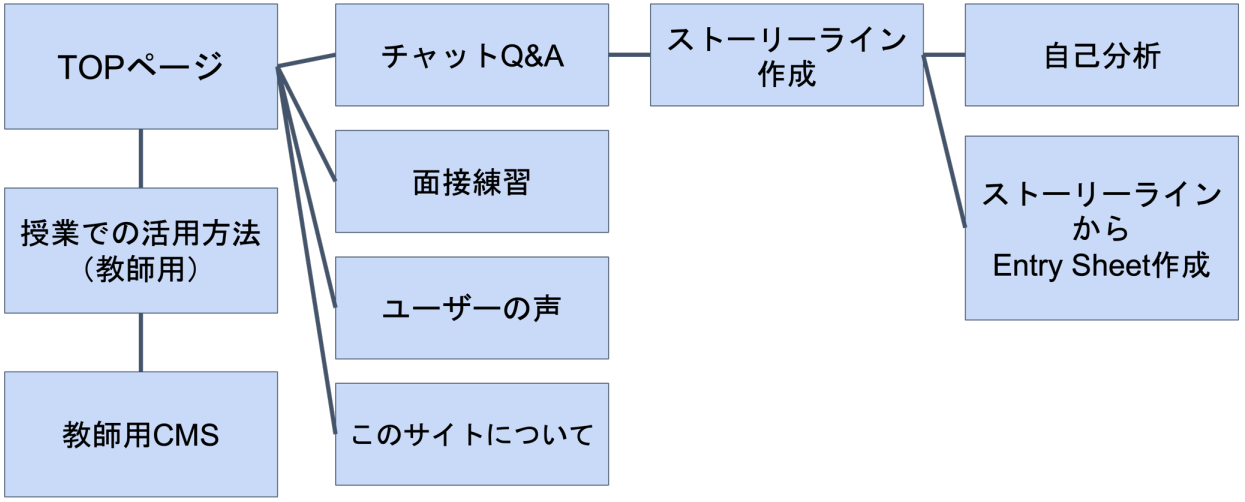
→**自己分析**

語学スキルによる困難点

→**Entry Sheet作成**

→**面接練習**

就職活動を理解する
多言語漫画も準備中！



引用文献

Mason, B. (2007). The efficiency of self-selected reading and hearing stories on adult second language acquisition. In Selected papers from the sixteenth International Symposium on English Teaching (pp. 630–633). Crane Publishing Company.

McQuillan, J. (2020). Harry Potter and the Prisoners of Vocabulary Instruction: Acquiring Academic Language at Hogwarts. *Reading in a Foreign Language*, Volume 32(2): 122–142.